

37. わたしたちの暮らしを支えている身近な生き物

大阪産業大学 デザイン工学部 環境理工学科

1. 子どもたちへのメッセージ

生き物はさまざまな形で私たちの生活に関わっており、自然と人の生活は切っても切れない関係にあります。そのような私たちの暮らしを支えている身近な生き物の例と草木染め体験を通して、人と自然が共存するにはどうすればいいのか考えてみましょう。

2. よういするもの

染液(染料・植物由来)、布、媒染液(ミョウバン水溶液)、温度計、鍋、手袋、水、電気ケトル

3. やりかた

- ① 鍋に入れた染液を 40 度～60 度くらいまで加熱し、布を入れて浸します。
- ② 染まり具合を確認しつつ、15 分ほど煮ます。
- ③ お好みの色になったら、布を取り出し水でしっかりと洗います。
- ④ 布を水洗いしたら、ミョウバンと水で作った媒染液に 30 分程つけ置きします。
- ⑤ ④で 30 分ほどつけて布を水洗いします。
- ⑥ 日陰で干して乾かし、しっかり乾いたら完成です。

4. わかること

私たちの暮らしは、食料や水の供給、気候の安定など、生物多様性を基盤とする生態系から得られる恵みによって支えられており、これを生態系サービスといいます。今回、紹介した例に加えて、実際に草木染めで自然の恵みを体験することで、私たちの暮らしが生態系サービスによって豊かになることを理解することができます。

5. 気をつけよう

火を扱うので、火傷や毛髪、衣服を燃やしてしまわないように気をつけよう！

染液が手や衣服についてしまうとなかなか落ちないので気をつけよう！

6. 問い合わせ先

大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科 鶴田哲也(文責者)

TEL : 072-875-3001 E-mail : tsuruta@est.osaka-sandai.ac.jp

7. 参考になる資料

『自然の恵みの価値を計る』—生物多様性と生態系サービスの経済的価値の評価—

<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/activity/policy/valuation/service.html>

自宅でできる草木染めのやり方

<https://craftie.jp/style/article/29798>

